

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 3 月 5 日

事業所名

くまのこ

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|----|--|----|-----|---------|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | 保護者からアンケートを通じ、個室対応が出来たら…と伺ったのだが、スペースの問題があるので、取組とうまく連動させるようにしております |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | | 昨今の人手不足で人員確保が厳しい状況ですが、今の支援体制を維持できるよう、今以上の支援ができるよう努力してまいります |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | ○ | | | 車椅子でそのままごま内に入れるようにはなっていませんが、状況・必要に応じ改修していければと思っております |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | | 児発管・児童指導員を含め、意見交換を行い適切に行っている |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | 今回のアンケート結果を基に、事業所として適切に行動していくことが決まっています |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | 当社HPにて公開 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 外部評価は行っていないが、法人内でその事業所に属さない人員により業務管理を行っている |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | | 月に1度法人内で研修を行い、職員の資質向上などを意図している |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | 事業の根幹をなすところなので、法人として丁寧に対応しています |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | | ○ | | 当事業所では児童さんの発達程度に格差があるため、標準化されたものではなく、児童さんの状況に応じたアセスメントを行っております |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | 事業所毎、児童さんの状況に応じてプログラムの選定を行っております |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | 通所されている児童さんが楽しんでもらえるように職員を指導しております |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | | 利用される時間に応じての活動プログラムを構築しております |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | アセスメントを基に適切な個別療育、集団療育を設定し支援計画書を作成している |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | 随時行っております |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | | 療育記録や申し送りを通して、全職員が共通の見解をもてるように取り計らっております |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | 療育記録などからよりよい支援の模索も行っております |
| | 18 | 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | 随時行っております |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | ○ | | | ガイドライン発表前から事業所として、同様の取組は行っております |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | 主に、児発管の者が対応しております |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | ○ | | | 送迎時などに適宜行っております |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | ○ | | | 現状、医療ケア児は通所されていませんが、アセスメント時において主治医をお伺いし、状況に応じて連動させて頂く予定にしております |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | | 保護者から情報提供を受けておりますが、直接のやりとりは状況に応じて行っております |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | | ○ | | 現状進路先からの情報提供の申し入れがなく、事業所としてどのように対応していけばよいのか模索中である |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | 必要に応じ、関係機関と連携し支援に活かしている |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | | 外出時などに、地域の児童さんとともに遊ぶことはあるが、定期的な交流などは現状行っておりません |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | ○ | | | 児発管の者が参加し、事業に対し理解を深めております |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | 事業の根幹をなすところなので、法人として丁寧に対応しています |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | ○ | | | 保護者の状況・ニーズに応じ支援を行っております |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | 事業の根幹をなすところなので、法人として丁寧に対応しています |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | 保護者の状況・ニーズに応じ支援を行っております |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | | 事業所の方で行っているが、アンケートで事前告知などについて改善点が見られたので、今後対応予定 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | 過去の課題から事業所に問題などが発生した際には、しっかりと報告を行い担当の者がすぐ対応できるようにしております |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | 定期的に活動予定などの告知を会報などで行っています |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | 法人内で規約を定め、従業員に遵守するように通達しております |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | 支援の為に意思疎通が必須であるので、事業所として必須事項と考えております |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている | | ○ | | 現状、地域の方々との交流はないが機会があれば参画したいと思っています |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | | 各種マニュアルは策定しているが、アンケートより告知不足の印象があったため、再告知を予定しております |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | 定期的に訓練などは行っており、職員にも有事の際の行動指針を伝えている |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | 月に一回法人内で研修を行っており、その際に指導を行っている |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | | 現状事業所の方で身体拘束は行っていないが、過去に該当事例が発生した際には、左記のような対応を行いました |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | - | - | - | 過去にも、強度の食物アレルギーを有しておられる児童さんは通所されていませんが、そのような際には事業所として十分に配慮する必要があると思っております |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | 法人内で従業員全員に義務付けられており、法人内でヒヤリハット報告書が蓄積されています |